

山口県からのヤマトナガヒラタムシの新記録と県産ナガヒラタムシ科の分布

下野 誠之・田中 浩

A new record of *Tenomerga yamato* Miyatake, 1985 (Coleoptera, Cupedidae)
from Yamaguchi Prefecture and distributional data of Cupedidae within the prefecture

Masayuki SHIMONO Hiroshi TANAKA

山口県立山口博物館研究報告

第50号(2024年3月)別刷

Reprinted from

BULLETIN OF THE YAMAGUCHI MUSEUM

No.50(March 2024)

山口県からのヤマトナガヒラタムシの新記録と県産ナガヒラタムシ科の分布

下野 誠之¹⁾・田中 浩²⁾

A new record of *Tenomerga yamato* Miyatake, 1985 (Coleoptera, Cupedidae)
from Yamaguchi Prefecture and distributional data of Cupedidae within the prefecture

Masayuki SHIMONO Hiroshi TANAKA

はじめに

ナガヒラタムシ科は国内に4種が分布し、本州からはヒメナガヒラタムシ *Tenomerga japonica* (Tamanuki, 1928), ナガヒラタムシ *T. mucida* (Chevrolat, 1829), ヤマトナガヒラタムシ *T. yamato* Miyatake, 1885 (以下、ヒメ、ナガヒラタ、ヤマト) の3種が知られる。ナガヒラタは広域に分布し比較的観察される機会がある一方で、ヒメは少ない種、ヤマトについてはまれな種(宮武, 1985)のようである。これまで山口県で確認されていた種はヒメとナガヒラタの2種であった。

今回筆者らの標本調査により山口博物館に収蔵されていた標本に複数のヤマトが含まれていたことが判明した。本県からは初記録であるとともに分布や地域の自然を調べる上で貴重な標本と思われる。新たな分布の情報として報告するとともに県内のナガヒラタムシ科を整理する。

ヤマトナガヒラタムシ

愛媛県の高縄山と長崎県の多良岳、大分県の祖母山で採集された個体を基に1985年に新種として記載された種である。九州では近年も記録が報告されているが(例えば山本, 2007; 山本, 2008; 城戸, 2023)、四国では記載以降の記録はないようである。本州では1973-80年に和歌山県で採集された3個体(的場, 1991)と1997年に神奈川県で採集された1個体(平野, 2000)の報告があるのみと思われる。

山口県の記録

山口博物館の収蔵標本から確認された5個体のデータを表1に示す。華山産の4個体はこれまでヒメと同定されていた。今回の標本調査によりヤマトと訂正する。

1) 環境科学大阪株式会社

2) 山口県立山口博物館(動物)

表中の「採集地」は標本のデータラベルに記された地名を示した。豊浦郡豊田町は現在の下関市豊田町である。Mt.Kuruson（狗留孫山）は山口市と下関市のそれぞれに存在するが採集地は下関市である（田中馨，私信）。

表1 山口博物館収蔵のヤマトナガヒラタムシ標本

種名	採集地	個体数	採集年月日	採集者	標本番号	備考
ヤマトナガヒラタムシ	山口県豊浦郡華山	1	23.vii.1967	田中 馨	1561	ヒメナガヒラタムシから訂正
<i>Tenomerga yamato</i> Miyatake, 1985	山口県豊浦郡華山	1	28.vii.1968	田中 馨	1562	ヒメナガヒラタムシから訂正
	Mt.Gesan Yamaguchi Pref.	1	19.viii.1979	田中 馨	1564 1/2	ヒメナガヒラタムシから訂正
	Mt.Gesan Yamaguchi Pref.	1	19.viii.1979	田中 馨	1564 2/2	ヒメナガヒラタムシから訂正
	Mt.Kuruson Yamaguchi Pref.	1	2.viii.1992	田中 馨	—	

県内産ナガヒラタムシ科の整理

山口博物館に収蔵されていた標本（未登録を含む）や文献記録，そして筆者の手元の標本を加え，県内での3種の記録を整理した（図1，図2，表2）。

ヒメは1968年に下関市の華山山頂で1個体が確認されたのみである（田中，1975）。

ナガヒラタは県下6市で確認され確認数が最も多かった。宇部市2丁目における採集例が多いが，これは採集者である田中馨氏が宇部市の特定のマンションに飛来する昆虫類を継続的に調査されていた結果である（田中馨，私信）。

ヤマトは前項の通りである。



図1 県内のナガヒラタムシ科の分布(○：ヒメ ▲：ナガヒラタ ●：ヤマト)

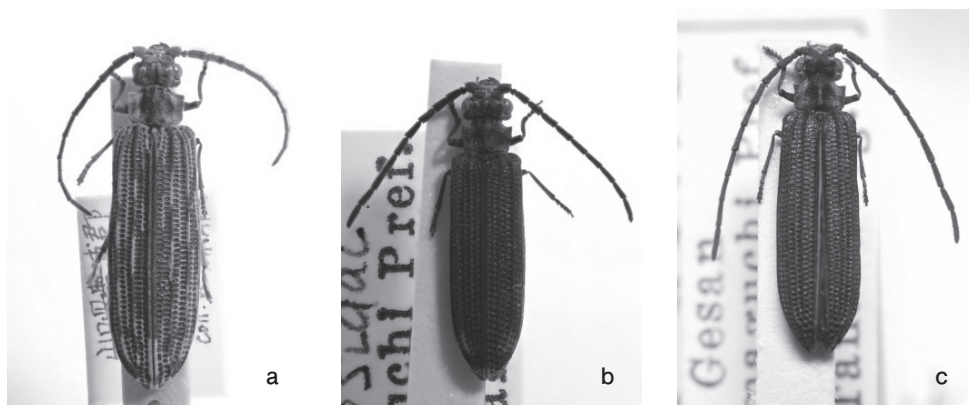


図2 山口県産ナガヒラタムシ科3種 a.ヒメ, b.ナガヒラタ, c.ヤマト

表2 山口県産ナガヒラタムシ科の記録(ヤマトを除く)

種名	採集地	個体数	採集年月日	採集者	標本番号	出典
ヒメナガヒラタムシ						
<i>Tenomerga japonica</i> (Tamanuki, 1928)	山口県豊浦郡華山	1	25.viii.1968	田中 馨	1563	田中(1975)
ナガヒラタムシ						
<i>Tenomerga mucida</i> (Chevrolat, 1829)	山口県宇部市上宇部	1	16.vii.1975	田中 馨	1558	
	山口県宇部市上宇部	1	28.vii.1976	田中 馨	1559	
	Akiyosidai Yamaguchi Pref.	1	21.vii.1986	田中 馨	1560 1/2	
	Akiyosidai Yamaguchi Pref.	1	21.vii.1986	田中 馨	1560 2/2	
	Kamiube Furogasako Yamaguchi Pref.	2	19.vii.1992	田中 馨	—	
	Susa-Ohasi Susa-cyô Yamaguchi Pref.	1	24.vii.1999	田中 馨	—	
	山口県山口市滝町山口県庁	1	1.viii.2000	角田正明	—	角田(2015)
	山口県宇部市開5丁目11-22-1	1	10.vii.2002	田中 馨	—	
	山口県宇部市小松原2丁目	1	24.vi.2003	田中 馨	—	田中(2004)
	山口県宇部市小松原2丁目	1	6.vii.2005	田中 馨	—	
	山口県宇部市小松原2丁目	2	10.vii.2006	田中 馨	—	
	山口県宇部市小松原2丁目	1	11.vii.2006	田中 馨	—	
	山口県宇部市小松原2丁目	1	24.vi.2009	田中 馨	—	
	山口県宇部市小松原2丁目	1	29.vi.2009	田中 馨	—	
	山口県宇部市小松原2丁目	1	24.vii.2009	田中 馨	—	
	山口県宇部市小松原2丁目	1	20.vii.2010	田中 馨	—	
	山口県宇部市小松原2丁目	1	27.vii.2010	田中 馨	—	
	山口県岩国市柱島	1	7-8.viii.2010	下野誠之	—	下野(2011)
	山口県宇部市小松原2丁目	1	14.vii.2011	田中 馨	—	
	山口県宇部市小松原2丁目	1	21.vii.2011	田中 馨	—	
	山口県宇部市小松原2丁目	1	1.vii.2013	田中 馨	—	
	山口県柳井市伊保庄	1	26.vii.2014	下野誠之	—	本報告
	山口県宇部市小松原2丁目	1	4.vii.2016	田中 馨	—	
	山口県宇部市小松原2丁目	1	5.vii.2016	田中 馨	—	
	山口県宇部市小松原2丁目	2	11.vii.2017	田中 馨	—	
	山口県宇部市小松原2丁目	1	24.vii.2018	田中 馨	—	
	山口県宇部市小松原2丁目	1	1.vii.2019	田中 馨	—	
	山口県宇部市小松原2丁目	1	22.vi.2020	田中 馨	—	
	山口県宇部市小松原2丁目	1	3.vii.2020	田中 馨	—	

おわりに

山口博物館の収蔵標本からヤマトを確認した。これにより県内に分布するナガヒラタムシ科は3種となった。博物館の収蔵標本やこれまでに報告されていた県内産の情報等を整理したところナガは比較的広域に、そして近年にも記録されていた。しかしながらヒメは華山、ヤマトは華山と狗留孫山で確認されているのみで共に近年の記録はない。新たな確認を期待したい。

謝辞

田中馨氏には採集時の状況や博物館の標本が登録された経緯の詳細等をご教授いただいた。的場績氏にはヤマトの同定の方法をご教示、そして結果の確認をしていただいた。吉富博之氏と田村竜土氏、山本周平氏には貴重な文献を恵与していただいた。宇都宮靖博氏には吉富博之氏との仲介の労を取っていただいた。今坂正一氏には九州におけるヤマトの情報いただいた。森正人氏には比較用に多数のナガヒラタ標本をお借りした。環境科学大阪株式会社からは収蔵資料を閲覧させていただいた。厚くお礼を申し上げる。

引用文献

- 平野幸彦, 2000. ヤマトナガヒラタムシの本州の記録. 甲虫ニュース, (127-128) : 18.
- 城戸克弥, 2023. 丸山式FITで得られたうきは市浮羽町新川の甲虫類 (1). KORASANA, (101) : 109-120.
- 的場 績, 1991. 和歌山県産甲虫目録 (1) ナガヒラタムシ科・セスジムシ科. 和歌山県立自然博物館報, (9) : 51-55.
- MIYATAKE, M., 1985. Notes on the genus *Tenomerga* of Japan (Coleoptera: Cupedidae). Trans. Shikoku Ent. Soc., (17) : 21-26.
- 宮武陸夫, 1985. ナガヒラタムシ科. 原色日本甲虫図鑑 (II) : 1-2, pl.1. 保育社, 大阪.
https://www.pref.ehime.jp/reddatabook2014/detail/05_08_002680_7.html
- 下野誠之, 2011. 柱島の昆虫 (1). 山口のむし, (10) : 141-145.
- 角田正明, 2015. 山口県産所蔵標本のリストについて. 山口のむし, (10) : 162-169.
- 田中 馨, 1975. 山口県の甲虫類 (1). 北九州の昆虫, 21 (1) : 15-20
- 田中 馨, 2004. 宇部市の高層マンションに飛来した昆虫. 山口のむし, (3) : 96-110.
- 山本周平, 2007. 福岡県英彦山でヤマトナガヒラタムシを採集. 月刊むし, (427) : 43.
- 山本周平, 2008. 福岡県英彦山における「ヤマトナガヒラタムシ」の追加記録. KORASANA, (76) : 46.